



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社丸和運輸機関
 コード番号 9090 URL <https://www.momotaro.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和佐見 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 河田 和美 (TEL) 048(991)1000
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第1四半期 | 26,772 | 14.0 | 2,239 | 36.7 | 2,310 | 35.7 | 1,598 | 36.6 |
| 2020年3月期第1四半期 | 23,489 | 16.3 | 1,638 | 26.8 | 1,702 | 22.2 | 1,169 | 12.1 |

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,579百万円 (63.0%) 2020年3月期第1四半期 969百万円 (△21.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第1四半期 | 25.06 | 24.99 |
| 2020年3月期第1四半期 | 18.25 | 18.18 |

(注) 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年3月期第1四半期 | 51,295 | 26,890 | 52.4 |
| 2020年3月期 | 48,423 | 26,328 | 54.4 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 26,890百万円 2020年3月期 26,328百万円

(注) 当社は、2020年3月9日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において自己株式を130,000株取得し、自己株式が316百万円増加しております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | 21.90 | — | 10.95 | — |
| 2021年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2021年3月期（予想） | — | 18.95 | — | 18.95 | 37.90 |

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。2020年3月期第2四半期末につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。また、2020年3月期期末及び2021年3月期（予想）につきましては、当該株式分割を考慮した配当金の額を記載しております。

3. 2021年3月期（予想）の年間配当額は、前期より年間1.0円（株式分割を考慮後）の増配と創業50周年の記念配当（中間配当につき7.5円、期末配当につき7.5円）を含め、配当性向50.1%を予定しております。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 49,490 | 4.1 | 3,220 | △6.1 | 3,330 | △5.9 | 2,290 | △6.2 | 35.91 |
| 通期 | 100,000 | 1.7 | 7,320 | 1.8 | 7,500 | 1.5 | 4,830 | 0.2 | 75.75 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2021年3月期1Q | 64,330,160株 | 2020年3月期 | 64,326,960株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期1Q | 569,612株 | 2020年3月期 | 439,612株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2021年3月期1Q | 63,766,031株 | 2020年3月期1Q | 64,096,625株 |

- (注) 1. 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数を算定しております。
2. 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託及び株式給付型ESOPの信託財産として保有する当社株式180,800株を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (重要な後発事象) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による世界経済の急激な悪化や、国内における緊急事態宣言の発出に伴う社会・経済活動の抑制等、国内外ともに景気の下振れが鮮明になっており、先行きは極めて不透明な状況となっております。

物流業界におきましては、燃料調達価格は低位に推移したものの、依然として労働力需給は逼迫しており、慢性的な人手・稼働車両不足への対応を要し、依然として厳しい経営環境で推移しております。

このような環境のもと当社グループは、前期よりスタートした中期経営計画において「3PL&プラットフォームカンパニー」をコンセプトに掲げ、「人材の確保及び育成」「先端技術の研究・活用」「新たな市場開発」に取り組んでまいりました。また、現下の状況を勘案して数値計画は修正したものの、当初の施策を継続的に取り組むと共に、EC物流事業、低温食品物流事業、BCP物流事業を新型コロナウイルス感染症終息後の環境変化に対応するため、社会インフラの物流事業として、更なる推進をすることといたしました。

EC物流事業では、成長市場における独自のラストワンマイル配送網の構築及び個人事業主「MQA (Momotaro・Quick Ace)」を開業支援する仕組みを進展させ、低温食品物流事業では当社のサービスメニュー「AZ-COM7PL」(アズコム セブン・パフォーマンス・ロジスティクス/7つの経営支援機能を付加した3PL)による物流品質の均質化と機能拡張に取り組むと同時に、鮮度を売り物とする「産直」の強化を図り、スーパーマーケットへの経営利益支援を行っております。更には平常時のみならず災害等による非常時においても安全・安心・安定した物流を提供するBCP物流事業を推進すると共に「AZ-COM丸和・支援ネットワーク」におけるパートナー企業との相互扶助に基づく連携強化により、物流事業を通じたライフラインの確保に貢献してまいりました。加えて、新型コロナウイルス感染症による環境変化に適応すべくDX(デジタル・トランスフォーメーション)推進等をより一層加速させております。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高26,772百万円(前年同四半期比14.0%増)、営業利益2,239百万円(同36.7%増)、経常利益2,310百万円(同35.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,598百万円(同36.6%増)の増収増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

① 物流事業

<EC・常温物流>

日用雑貨を中心とするEC・常温物流においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的とした店舗休業要請等に伴い、一部の取引先における物量減少があったものの、「ECラストワンマイル当日お届けサービス」の受託エリアにおける稼働拠点及び車両台数が順次拡大したことに加え、新たな3PL業務受託などが寄与した結果、売上高は10,641百万円(前年同四半期比23.5%増)となりました。

<食品物流>

低温食品を中心とした食品物流においては、「AZ-COM7PL」戦略に基づく物流改革提案により獲得した新規物流センターの稼働に加え、緊急事態宣言による外出自粛要請に伴う巣ごもり需要の高まりを受けた物量増加が業績に寄与した結果、売上高は10,890百万円(前年同四半期比13.0%増)となりました。

<医薬・医療物流>

医薬・医療物流においては、主要取引先であるドラッグストアをはじめとする既存取引先にて、マスクをはじめとする一部商品や生活必需品における需要の拡大が見られたものの、インバウンド需要の急激な落ち込みや店舗の休業・営業時間短縮に伴う物量減少が影響した結果、売上高は5,029百万円(前年同四半期比0.0%減)となりました。

利益面では、取引先における物量の変動に対し、適正な車両手配及び人員配置等、日次決算マネジメントを強化した結果、物流事業における売上高26,561百万円(前年同四半期比14.1%増)、セグメント利益(営業利益)は2,177百万円(同38.5%増)の増収増益となりました。

② その他

文書保管事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う企業活動の停滞による取引先からの受注減少が影響したものの、既存取引先との取引拡大や新規取引先からのBPO(ビジネスプロセス・アウトソーシング)に係る新規案件の受託に努めた結果、売上高は211百万円(前年同四半期比2.6%増)の増収となりましたが、先行投資による費用の増加が影響し、セグメント利益(営業利益)は61百万円(同6.0%減)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は51,295百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,872百万円増加いたしました。流動資産は23,508百万円となり、3,075百万円増加いたしました。この主な要因は、今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、手元流動性を高めるため現金及び預金が3,049百万円増加したこととあります。また、固定資産は27,787百万円となり、203百万円減少いたしました。この主な要因は、建物及び構築物が78百万円、機械装置及び運搬具が65百万円、リース資産が52百万円減少したこととあります。

負債につきましては、24,405百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,310百万円増加いたしました。流動負債は18,052百万円となり、1,638百万円増加いたしました。この主な要因は、未払法人税等が841百万円減少した一方で、短期借入金が2,600百万円増加したこととあります。また、固定負債は6,353百万円となり、672百万円増加いたしました。この主な要因は、長期借入金が703百万円増加したこととあります。

純資産につきましては、26,890百万円となり、前連結会計年度末に比べ562百万円増加いたしました。この主な要因は、自己株式が316百万円増加（純資産の減少）した一方で、利益剰余金が896百万円増加したこととあります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年5月11日に公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。新型コロナウイルス感染症拡大による影響につきましては、2021年3月期通期に及ぶものと仮定しており、連結業績予想は据え置いております。なお、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、今後業績において著しい影響が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,541,130 | 11,590,556 |
| 受取手形及び売掛金 | 11,020,893 | 11,054,395 |
| 貯蔵品 | 37,776 | 44,281 |
| その他 | 837,531 | 823,870 |
| 貸倒引当金 | △4,314 | △4,265 |
| 流動資産合計 | 20,433,018 | 23,508,838 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 8,295,808 | 8,217,269 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,681,118 | 2,615,886 |
| 土地 | 6,540,656 | 6,540,656 |
| その他(純額) | 2,122,492 | 2,077,735 |
| 有形固定資産合計 | 19,640,076 | 19,451,547 |
| 無形固定資産 | 1,422,353 | 1,372,351 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 6,975,480 | 7,010,902 |
| 貸倒引当金 | △47,652 | △47,678 |
| 投資その他の資産合計 | 6,927,828 | 6,963,223 |
| 固定資産合計 | 27,990,258 | 27,787,122 |
| 資産合計 | 48,423,277 | 51,295,960 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,125,738 | 6,879,139 |
| 短期借入金 | 200,000 | 2,800,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,158,648 | 2,273,622 |
| 未払法人税等 | 1,593,545 | 752,529 |
| 賞与引当金 | 601,268 | 161,464 |
| 訴訟損失引当金 | 18,600 | 18,600 |
| その他 | 4,716,477 | 5,167,048 |
| 流動負債合計 | 16,414,277 | 18,052,404 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,679,730 | 3,383,432 |
| 退職給付に係る負債 | 751,660 | 767,174 |
| 資産除去債務 | 598,166 | 599,861 |
| 役員株式給付引当金 | 8,354 | 8,394 |
| 従業員株式給付引当金 | 10,989 | 10,331 |
| その他 | 1,631,982 | 1,584,120 |
| 固定負債合計 | 5,680,883 | 6,353,314 |
| 負債合計 | 22,095,160 | 24,405,718 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,660,814 | 2,661,032 |
| 資本剰余金 | 2,175,236 | 2,175,454 |
| 利益剰余金 | 21,327,545 | 22,224,219 |
| 自己株式 | △611,882 | △928,118 |
| 株主資本合計 | 25,551,714 | 26,132,587 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 954,922 | 926,247 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △178,519 | △168,593 |
| その他の包括利益累計額合計 | 776,402 | 757,653 |
| 純資産合計 | 26,328,117 | 26,890,241 |
| 負債純資産合計 | 48,423,277 | 51,295,960 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 23,489,387 | 26,772,719 |
| 売上原価 | 20,621,923 | 23,136,000 |
| 売上総利益 | 2,867,464 | 3,636,719 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,229,339 | 1,397,263 |
| 営業利益 | 1,638,125 | 2,239,455 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 797 | 368 |
| 受取配当金 | 26,565 | 39,428 |
| その他 | 43,133 | 38,288 |
| 営業外収益合計 | 70,497 | 78,085 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,881 | 4,153 |
| その他 | 1,617 | 2,972 |
| 営業外費用合計 | 6,498 | 7,126 |
| 経常利益 | 1,702,123 | 2,310,414 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,702,123 | 2,310,414 |
| 法人税等 | 532,259 | 712,194 |
| 四半期純利益 | 1,169,864 | 1,598,220 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,169,864 | 1,598,220 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,169,864 | 1,598,220 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △209,542 | △28,675 |
| 退職給付に係る調整額 | 8,866 | 9,926 |
| その他の包括利益合計 | △200,675 | △18,748 |
| 四半期包括利益 | 969,188 | 1,579,471 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 969,188 | 1,579,471 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式130,000株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が316,236千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が928,118千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | その他 (注) | 合計 | 調整額 | 四半期連結損益 計算書計上額 |
|-----------------------|------------|------------|------------|----------|-------------------|
| | 物流事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 23,283,294 | 206,093 | 23,489,387 | — | 23,489,387 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 24,664 | 96,861 | 121,525 | △121,525 | — |
| 計 | 23,307,958 | 302,954 | 23,610,913 | △121,525 | 23,489,387 |
| セグメント利益 | 1,572,271 | 65,853 | 1,638,125 | — | 1,638,125 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、文書保管庫の賃貸事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | その他 (注) | 合計 | 調整額 | 四半期連結損益 計算書計上額 |
|-----------------------|------------|------------|------------|----------|-------------------|
| | 物流事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 26,561,184 | 211,535 | 26,772,719 | — | 26,772,719 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 42,685 | 95,581 | 138,267 | △138,267 | — |
| 計 | 26,603,869 | 307,117 | 26,910,986 | △138,267 | 26,772,719 |
| セグメント利益 | 2,177,559 | 61,873 | 2,239,432 | 22 | 2,239,455 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、文書保管庫の賃貸事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。